

2年普通科・理数科課題探究合同発表会

令和6年1月26日（金）に本校体育館にて「2年普通科・理数科課題探究合同発表会」を実施しました。普通科（人文、社会、経済、教育、健康、栄養、スポーツ、数学、情報、化学、生物、物理分野）65グループ、理数科（数学、情報、化学、生物、物理分野）18グループがポスター発表を行いました。

普通科と理数科の生徒が研究分野の垣根を越えて相互発表を行うことによって、データの示し方や説明の仕方、研究アプローチの仕方が分野によって異なること等について幅広い視点で学ぶことができました。また、1年生も発表会を見学して熱心に先輩のポスター発表を聞いていました。

【合同発表会の様子】



【生徒の感想】

○2年生

- 自分たちが探究した内容を何も知らない人たちに、説明するのはとても難しかったが、順序を立てて説明することができた。自分たちが予想していた質問以外でも落ち着いて丁寧に説明すれば伝わると学ぶことができた。
- 自分は、理数科の一部の発表しか見たことがなかったので普通科の発表を聞くことができ興味深かった。また、自分の発表を理数科の人以外に1年生や普通科の人に聞いてもらって、今まで出てこなかった質問を聞くこともできてよかった。今までいくつかの発表をしてきたので緊張せずにできた。

○1年生

- 考えた仮説の正誤を確かめるためには、どのようなアンケートや実験をすればよいのかということを一から丁寧に考える必要があるとわかったので、結論に至るまでにしっかりと根拠を示せる研究活動にできるよう生かしていきたい。
- 普段の生活の中から疑問や興味のある事柄を見つけ、それについて仮説をたて、検証し、考察、まとめをすることがわかった。普段の生活の中でアンテナを張って情報を集めていくことが大切だと思った。